

八雲町津波避難計画改定業務公募型プロポーザル講評

本プロポーザルに係るプレゼンテーションは、北海道が公表した津波浸水想定に基づき、現行の「八雲町津波避難計画」を改定するため、本町が求める訴求性、専門的知見、その他独自の提案を含めた4者による企画提案をいただきました。

提案者によるプレゼンテーション及びヒアリングの中で、焦点があてられたのは、①避難対象地域の検討、②避難困難区域の検討、③指定緊急避難場所等の設定、④自動車避難のあり方の検討、⑤津波避難計画改定案の作成、⑥パブリックコメントの実施支援、その他自動車避難交通シミュレーションに係る企画提案でした。

4者による提案内容にはこれらの考え方がさまざまに盛り込まれており、選定委員が的確性や独創性、実現性、関係者の連携などの視点に基づき審査するうえでの大きな点でもありました。

国や北海道の動向についての理解に加え、実施方針・体制に関する考え方について、全ての提案者から提案をいただきました。

選定委員会は、4者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施後、第1次審査の評価と合わせ最終的な評価を行い、各テーマに対する提案について、本業務の内容を十分に理解し、将来を見据えた具体的かつ意欲的な提案と履行体制により確実な業務が期待できる提案者を最優秀（受注候補者）として選定いたしました。

優秀者（次点者）を含めたその他の提案者からも工夫が施され、優れたご提案をいただきました。その中でも最優秀者については、災害対応の指針や各計画との整合が図られており、今回提案いただいた八雲町津波避難計画改定への具体的な提案内容が特に優れていたため、最も高く評価される結果となりました。

八雲町津波避難計画改定業務

プロポーザル選定委員会 委員長 八雲町副町長 成田 耕治